

ソフトボール協会

昭和55年(1980年)創立

【あゆみ】

茅ヶ崎市では、地域住民の親睦を目的とした大会が、自治会、体育振興会、体育指導委員等により実施されていた。これら大会は初心者も参加させソフトボール人口拡大を狙いとしたこともあり、男女混合チームによる出場や、特別ルールを設けて実施されていた。このような状況の中で、昭和53年(1978年)に茅ヶ崎市教育委員会主催の家庭婦人ソフトボール大会や、一般男子の同好会による大会が行われるようになった。同年、茅ヶ崎市教育委員会の指導で、茅ヶ崎市家庭婦人軽スポーツ連盟の下部組織として茅ヶ崎家庭婦人ソフトボール連盟が発足し、毎年秋に大会が開催されるようになった。昭和54年(1979年)に、茅ヶ崎市教育委員会が中心となり、家庭婦人連盟、一般男子同好会等の代表者を集め、ソフトボール協会設立の話し合いがもたれた。時期尚早論等も出るなど、同意を得るのに相当の時間を必要とした。このような中で昭和55年(1980年)に前理事長小室喜一氏及び香川地区第一町内会が中心となり、神奈川県ソフトボール協会の承認を得て茅ヶ崎ソフトボール協会が発足した。

【発足後の動き】

茅ヶ崎ソフトボール協会発足後最初のイベントとして、昭和55年(1980年)9月に第1回茅ヶ崎中学女子ソフトボール選手権大会を開催し、茅ヶ崎として初めて県大会へ2チームを送ることができた。昭和56年(1981年)には神奈川県ソフトボール協会下部組織である神奈川県家庭婦人ソフトボール連盟の茅ヶ崎支部が発足した。

当支部の茅ヶ崎ファミリーズが昭和56年(1981年)に県大会で優勝し、関東大会に出場。また、昭和57年(1982年)も県大会優勝、関東大会3位、全国大会3位と、全国的にも神奈川県茅ヶ崎の存在をアピールすることができた。

その他、茅ヶ崎市内の中学校も毎年活躍し、とくに松林中、梅田中、萩園中は県大会に数多く出場し、好成績を残している。昭和19年(2007年)8月には萩園中が関東大会に出場し、優勝。続く全国大会では2回戦で日出中(東京)に惜敗したが、その力は高く評価された。

また、北陽中出身の三科真澄選手(現ルネサステクノロジ高崎事業所ソフトボール部所属)は、2004アテネ・2008北京の2大会連続オリンピック出場を果たしており、茅ヶ崎の小・中・高校ソフトボール選手の励みになるなど、本市ソフトボール競技に多大な貢献をされた。その功労がたた

えられ、本年（平成 20 年（2008 年））11 月に市民栄誉賞が贈られた。

【歴代役員】（平成 10 年度以降）

	H10・11度	H12・13度	H14・15度	H16・17度	H18・19度	H20度～
会 長	添田高明	佐藤 光	佐藤 光	佐藤 光	佐藤 光	佐藤 光
副会長	-	木村忠雄	木村忠雄	木村忠雄	木村忠雄	木村忠雄
	-	-	-	-	-	鈴木栄大
理事長	小室喜一	小室喜一	小室喜一	小室喜一	遠藤義直	遠藤義直



（平成 19 年度（2007 年度）関東中学校大会（萩園中））